

第7回地域づくり事業 市民による仙北市民の文化フォーラム



歴史は相対的なものと話す西木氏

“市民として自分たちの出来ることは自分たちの手で”をスローガンに、地域貢献を目指し活動する「ルネッサンス・角館」と、同じく地域貢献活動を推進する「財団法人大曲法人会仙北支部」の共催により、『市民による仙北市民の文化フォーラム』が2月16日、角館樺細工伝承館を会場に開催されました。

仙北市西木町出身で直木賞作家の西木正明氏を講師に招き、「歴史から学ぶこと」と題した講演が行われました。西木氏は「歴史は相対的なもの。ひとつの出来事でも、見る方向が違くと違って見える。今、歴史の表に出てきているものはほんの一部で、その大半が勝った者の立場から見たもの、歴史の裏を知ることも大切」と話し、次回作のため精力的に取材をしている情報の一部を織り交ぜながらの講演に、集まった参加者は興味津々に聞き入っていました。



紙風船西木ふるさと会総会

2月17日、東京上野精養軒を会場に、第19回紙風船西木ふるさと会(会長 熊谷 久)総会と懇親会が開催されました。

当日は会員など114人が参加し、石黒市長・佐藤市議会議長をはじめ、門脇県議会議員・市関係者や団体の皆さんが出席しました。また、東京かくのたて会会長・東京田沢湖会会長なども招待され、西木町出身の直木賞作家西木正明氏の講演が行われました。

第2部では、浅草のプロ民謡集団「みどりの会」のフルバンドに合わせて、会員による民謡やカラオケの熱唱に時間の経つのも忘れて酔いしれ、ふるさとを偲びあひながら懇親を深め、来年の2月15日(日)の上野の杜での再会を誓っていました。



第13回おやま囃子芸能発表会

2月11日、仙北市角館交流センターにておやま囃子芸能発表会が開催されました。今回は過去最多の17団体(延べ477人)が参加しました。また、会場には700人を超えるお客様にも来場いただき、大盛況でした。

この行事は、国指定無形民俗文化財「角館祭りのやま行事」の重要な構成要素である「おやま囃子」を、日頃練習している若者達に、その成果を発表する場を設け一堂に披露することにより、レベルアップを図り、伝統の継承活動に寄与するものです。

第3回仙北市民スキー大会

2月11日、仙北市体育協会(菅原陽三会長)が主催する第3回仙北市民スキー大会が行われました。

アルペン競技は、たざわ湖スキー場の国体コース下部斜面で、距離は田沢湖スポーツセンターのクロスカントリーコースで行われ、出場した約150人がそれぞれの競技で熱戦を繰り広げました。

当日の優勝者 ※敬称略

- アルペン女子** 幼児◆田口真 小学校1年◆熊谷汐音 小学校2年◆小野凌華
小学校3年◆田口修菜 小学校5年◆高田真依子 小学校6年◆菅原由貴
- アルペン男子** 幼児◆横田溪太 小学校1年◆能美淑人 小学校2年◆菊池麗旺
小学校3年◆鈴木峻 小学校4年◆日高大樹 小学校5年◆鈴木智仁
小学校6年◆菅原健太郎 中学校一般◆千葉敦也 一般B◆千葉隆 一般C◆新山仁
- クロスカントリー男子** 小学校1年◆黒坂騎羅弥 小学校2年◆永山敦也
小学校3年◆菅原唯斗 小学校4年◆若松龍貴 小学校5年◆千葉光
小学校6年◆熊谷太一 中学校部活◆菅原一斗 一般◆松田朝生
- クロスカントリー女子** 小学校2年◆茂木ほのか 小学校3年◆相馬優花
小学校4年◆阿部瑞姫 小学校5年◆比嘉花南美 小学校6年◆仙北谷保乃香
中学校一般◆千葉桃香 中学校部活◆嶋村奈津美

